

施策名：マーケットインの商品(もの)づくりの加速

事業名	担当課・室名	ページ
GAPを活かす産地育成事業	地域農業振興課	1 / 10
The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業	おおいたブランド推進課	1 / 10
「ベリーツ」ブランド確立対策事業	おおいたブランド推進課	1 / 10
The・おおいたブランドPR推進事業	おおいたブランド推進課	2 / 10
畜産GAP取得推進事業	畜産振興課	2 / 10
おおいた材プロモーション活動支援事業	林産振興室	2 / 10
しいたけ消費拡大対策事業	林産振興室	3 / 10
県産水産物流通拡大推進事業	漁業管理課	3 / 10
県産農水産物学校給食提供事業	農林水産企画課	3 / 10
6次産業化サポート体制整備事業	おおいたブランド推進課	4 / 10
県産花き消費拡大緊急対策事業	園芸振興課	4 / 10
木造建築物等建設促進総合対策事業	林産振興室	4 / 10
「おおいたの有機」産地づくり加速化事業	地域農業振興課	5 / 10
もうかる水田作物産地力強化対策事業	水田畑地化・集落営農課	5 / 10
食品企業連携産地拡大推進事業	おおいたブランド推進課	5 / 10
ねぎ産出額100億円プロジェクト推進事業	園芸振興課	6 / 10

事業名	担当課・室名	ページ
次代へ繋ぐ園芸産地整備事業	園芸振興課	6 / 10
花き経営安定化対策事業	園芸振興課	6 / 10
牛乳消費拡大推進事業	畜産振興課	7 / 10
県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業	畜産振興課	7 / 10
おおいた冠地どり流通拡大対策事業	畜産振興課	7 / 10
酪農経営生産性向上対策事業	畜産技術室	8 / 10
草地畜産基盤整備事業	畜産技術室	8 / 10
肉用牛競争力強化対策事業	畜産技術室	8 / 10
酪農基盤対策事業	畜産技術室	9 / 10
大野川上流地区園芸産地強化対策事業	農村整備計画課	9 / 10
林業再生県産材利用促進事業	林産振興室	9 / 10
しいたけ増産体制整備総合対策事業	林産振興室	10 / 10
農林水産物輸出需要開拓事業	おおいたブランド推進課	10 / 10

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
1	<b>GAPを活かす産地育成事業</b> ( R2 ~ R4 ) 地域農業振興課	①JGAPの活かし方見える化事業 ・JGAP認証農場の経営及び取組を分析 ・経営改善効果等に見える化し、他産地へのGAP普及を図る	① 3,042 ③ 460	<b>JGAP認証農家数</b>	目標値	217	<b>233</b>	250	<b>B</b>
			② 1,233 ④		実績値	222	<b>211</b>	—	
	安全・安心な農産物等の生産や農業生産の経営改善等を図るため、JGAPの認証取得に向けた取組を支援する。	②GAPの理解促進・推進 ・農業者へのGAP普及啓発セミナーの開催 ・GAP指導者となる人材育成のための研修実施	主な活動指標と達成率		[戸]	達成率	102.3%	<b>90.6%</b>	—
			農業教育機関のGAP認証数	目標値		9	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 高齢者の離農等が相次ぎ、JGAP認証農家が減少したが、GAPの啓発や生産者指導を継続的に行い、今年度新規に5経営体がGGAP、JGAP認証を取得した。 今後は、JGAP認証のメリットをわかりやすく示し、新規のJGAP認証取得者を増やすとともに、既存のJGAP認証農家に対して、認証の維持継続につなげる。 また、大手コンビニ等からGAP認証品を求める声が増えてきていることを受け、この需要に対応するため、生産者へのGAP取組指導を継続的に行う。		
	③JGAP残留農薬検査 JGAP認証取得生産者等を対象とした農作物の残留農薬検査費用の一部助成	JGAPの活かし方みえる化	目標値	2					
実績値	2								
達成率	100.0%								
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	[累計：件]							
5,718 (0)	4,735 (2,027)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
2	<b>The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業</b> ( H28 ~ ) おおいたブランド推進課	①消費拡大対策 ・県産農林水産物の流通販売戦略を立案推進する流通対策本部の活動を支援 ・「The・おおいた」ホームページの保守管理運営や季刊誌の発行	① 10,975 ③ 2,714	<b>園芸戦略品目でシェア1位の拠点市場数</b>	目標値	11	<b>12</b>	12	<b>A</b>
			② 3,250 ④		実績値	11	<b>12</b>	—	
	県産農林水産物の販売を促進するため、マーケットニーズに対応した販路開拓に取り組むとともに、販売の多チャンネル化に向けて新商品の開発等を支援する。	②カボス振興対策 ・「大分かぼす」を全国にPRし、需要拡大を図るために活動する大分県カボス振興協議会に対する負担金	主な活動指標と達成率		[市場]	達成率	100.0%	<b>100.0%</b>	—
			県外でのトップセールス回数	目標値		4	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍であったが、オンライン商談やSNS等を用いた情報発信に努め、園芸戦略品目14品目のうち、シェア1位となった拠点市場数はピーマン(4)、白ねぎ(3)、にら(2)、高糖度かんしょ(2)、かぼす(1)の12市場となり、目標を達成することができた。 今後は、農業総合戦略会議で決定した短期集中県域支援品目の増産計画を踏まえた、市場の新規開拓や既存市場でのシェア拡大、消費喚起対策に重点的に取り組んでいく。		
	③販売の多チャンネル化対策 ・ネット販売需要の高まりへの対応を目的とした試作品の開発経費への支援や研修会の開催	農産及び食品企業担当マーケターによる商談回数	目標値	100					
実績値	150								
達成率	150.0%								
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	[回]							
22,945 (0)	19,944 (2,444)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
3	<b>「ベリーツ」ブランド確立対策事業</b> ( R2 ~ R3 ) おおいたブランド推進課	①流通販売対策 ・ギフトアイテムを活用した百貨店・高級果実専門店への販売促進活動や、イベント・フェア等での情報発信による「ベリーツ」イメージの確立 ・流通試験や使用資材の検討など高品質を維持した流通体制の確立	① 19,497 ③	<b>ギフトアイテム出荷比率</b>	目標値	5	<b>10</b>		<b>A</b>
			② 7,313 ④		実績値	13	<b>19</b>		
	県産いちご「ベリーツ」のブランド確立のため、高品質・安定生産に向けた生産対策に取り組むとともに、高価格帯ギフトアイテムの新規販売先開拓などの販売対策に取り組む。	②生産対策 ・高収益モデル実証圃による技術確立と食味等品質平準化調査などによる生産技術の高度化 ・炭酸ガスくん蒸装置や遮光資材などの品質向上に効果のある資材導入への支援 ・モニタリングデータを活用した通年の研修会の実施による品質・収量向上	主な活動指標と達成率		[%]	達成率	260.0%	<b>190.0%</b>	
			ベリーツのさがほのかに対する販売単価比率	目標値		1.1	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 高価格帯ギフトアイテムの新規販売先開拓や新規フェアでの販売などにより、ギフトアイテム出荷比率が19%となった。 令和4年度からは、「短期集中県域支援品目販売戦略推進事業」として、全農おおいたが主体となって実施するギフトアイテムを中心とした販売促進活動に対して新たに助成を行うとともに、作業の効率化等に向けたパッケージセンターの整備を支援する。		
	③	年内単収	目標値	480					
実績値	377								
達成率	78.5%								
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	[kg/10a]							
29,476 (0)	28,730 (10,896)								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針										
4	<b>The・おおいたブランドPR推進事業</b> ( R3 ~ R4 ) おおいたブランド推進課 県産農林水産物の消費拡大を図るため、県内旅館・ホテルの宿泊者向けの県産食材プレゼントキャンペーンを実施するほか、ECサイトでの県産食材の販売促進を実施する。	① 宿泊者向け県産農林水産物プレゼントキャンペーン ・県産農林水産物の幅広いPRを目的に、県内宿泊施設の宿泊者を対象に県産農林水産物が当たるプレゼントキャンペーンの実施 ② ECサイトでの県産食材販売促進 ・ECサイトで県産農林水産物が特別価格・送料無料で購入できるキャンペーンの実施	宿泊者プレゼントキャンペーンは、令和4年1月8日から開始したものの、県内での感染が拡大したことから、1月22日～3月31日まで一時中止することとなった。そのため、予算を繰り越し、令和4年度まで期間を延長して実施する。 インターネット販売キャンペーンは、コロナ禍による巣ごもり需要により販売数が7,267件と好調であり、幅広く県産農林水産物のPRが図れた。										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>宿泊者向けプレゼントキャンペーン</th> <th>インターネット販売キャンペーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象期間</td> <td>令和4年1月8日～1月21日 ※以降感染状況を踏まえ一時中止</td> <td>令和4年1月8日～2月28日</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>応募総数: 11,956人</td> <td>販売数: 7,267件</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2">再開後の期間: 令和4年4月1日～5月8日</td> </tr> </tbody> </table>			宿泊者向けプレゼントキャンペーン	インターネット販売キャンペーン	対象期間	令和4年1月8日～1月21日 ※以降感染状況を踏まえ一時中止	令和4年1月8日～2月28日	実績	応募総数: 11,956人	販売数: 7,267件	備考
		宿泊者向けプレゼントキャンペーン	インターネット販売キャンペーン										
	対象期間	令和4年1月8日～1月21日 ※以降感染状況を踏まえ一時中止	令和4年1月8日～2月28日										
実績	応募総数: 11,956人	販売数: 7,267件											
備考	再開後の期間: 令和4年4月1日～5月8日												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>190,700 (125,200)</td> <td>64,230 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	190,700 (125,200)	64,230 (0)									
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)												
190,700 (125,200)	64,230 (0)												

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
5	<b>畜産GAP取得推進事業</b> ( R2 ~ R4 ) 畜産振興課 畜産の競争力強化を図るため、指導員の育成から生産者指導及び生産者による畜産GAP等の認証取得までを推進する。	① 農家指導にかかる研修会等の経費 ・畜産GAP取得希望農家に対する飼養衛生管理等の衛生指導の実施 4回 ・畜産GAP専門家による研修会開催 1回 ② 畜産GAP認証取得に対する助成 ・指導員の育成 畜産GAP指導員研修	① 963 ③ ② 99 ④	<b>畜産GAP取得農場数</b> [累計：戸]	目標値	2	4	6	D		
			取組指導農家戸数 [戸]		目標値	4	達成率	100.0%			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,931 (0)</td> <td>1,062 (99)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	1,931 (0)	1,062 (99)		研修会の開催により指導員を確保し、畜産農場における飼養衛生管理等の向上に重点を置いた生産者指導を行ったものの、新型コロナウイルスの影響により、インバウンド需要が減少する中、認証取得が進まず、取得農場数は目標値を下回った。 今後は、県機関において、畜産GAPの取得を行い、地域のモデル農場として、周辺農家への畜産GAPの普及・啓発を行うことで、取得農場数の増加につなげる。	実績値	2	2	—
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)									
1,931 (0)	1,062 (99)										
		研修会開催回数 [回]	目標値	1	達成率	100.0%					

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
6	<b>おおいた材プロモーション活動支援事業</b> ( R1 ~ R3 ) 林産振興室 県産材の需要拡大を図るため、県外消費地における販売拠点の設置や大規模イベントの開催等を支援する。	① 販売拠点の設置や大規模イベントの開催を助成 (販売拠点設置) ・関東、中部などの国内4ヶ所に「おおいた材」の販売拠点を設置し、県外消費地における県産材の利用拡大を図る取組を支援 (大規模イベント開催) ・「おおいた材」のPRのため、販売拠点を設置した企業等において開催された3イベントの開催を支援	① 5,157 ③ ②	<b>国内拠点への販売量</b> [㎡]	目標値	7,500	10,000		B		
			取組指導農家戸数 [回]		目標値	5	達成率	53.2%		92.9%	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,365 (0)</td> <td>5,376 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	7,365 (0)	5,376 (0)		コロナ禍による行動制限の長期化により、イベントの中止が相次いだものの、県外消費地への県産材販売拠点の設置及び開催が叶ったイベントへの開催を支援したことにより、供給力の強化が図られた。 令和4年度からは、「林業再生県産材利用促進事業」として、県外大消費地におけるプレカット工場等へ大径材製品のサンプルを提供し製品評価を実施することにより、引き続き県産材の需要拡大に取り組んでいく。	実績値	3,989	9,287	
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)									
7,365 (0)	5,376 (0)										
		販売拠点でのイベント回数 [回]	目標値	3	達成率	60.0%					

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
7	<b>しいたけ消費拡大対策事業</b> ( R3 ~ R5 ) 林産振興室 しいたけの消費拡大を図るため、大消費地において新ブランド「うまみだけ」の認知度向上に取り組むとともに、新しい食べ方の普及や機能性に着目した商品開発のための施設整備等を支援する。	①「うまみだけ」による消費拡大対策 ・百貨店・卸業者等を対象とした商談（全国）7回 ・プロモーション動画の制作及び発信（全国）7回 ・大消費地イベントの開催（福岡市他3箇所）6回 ・レシビ及び販売店MAPの制作（全国）1回 ②乾しいたけの販売強化・普及PR活動 ・販売イベントの開催（県内）16回 ・料理セミナーの開催（全国）8回 ・PR動画の制作（県内）3回 ③生しいたけの販売強化・普及PR活動 ・販売イベントの開催（県内・京都）5回	① 22,816 ③ 292	<b>「うまみだけ」生産量</b> 目標値 実績値 達成率			30	60	A
			② 3,959 ④			40	—		
			主な活動指標と達成率		[t]	133.3%	—		
			乾しいたけPR活動回数 目標値 30 実績値 32 [回] 達成率 106.7%	「うまみだけ」PR活動回数 目標値 12 実績値 21 [回] 達成率 175.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 「うまみだけ」のプロモーションのため、販売イベントやPR動画のSNS発信など認知度向上に取り組むとともに、「うまみだけ」品種別管理調査による生産者指導や、マーケター、普及指導員による情報提供を実施したことで、出荷量を確保することができた。 令和4年度からは、販売店の拡大とPRの強化、新商品の開発を支援し、しいたけの消費拡大を図る。				
			予算額 (うち翌年度繰越額) 29,645 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 27,352 (10,145)						

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
8	<b>県産水産物流通拡大推進事業</b> ( R1 ~ R6 ) 漁業管理課 県産水産物の流通拡大を図るため、大消費地における販促活動を行うとともに、子育て世代を中心とした魚食普及活動や「おおいた県産魚の日」を活用した県産魚PR活動を実施する。	①都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 全国：4回（大分ヒラマサキャンペン等） 関東：9回（かぼすプリフェア等） 関西：1回（イオン大分フェア等） 九州：6回（杵築んじょうフェア等） ・パートナーシップ量販店認定：株式会社ウオクロクホールディングス ②「県産魚の日」を中心とした魚食普及活動 魚のさばき方、食べ方等を学ぶおさかな教室の開催 (小学校：7回、小中一貫校：2回、中学校：4回、高校：2回、市民向け：5回)	① 7,554 ③	<b>「おおいたの魚パートナーシップ量販店」数</b> 目標値 実績値 達成率		20	30		A
			② 2,960 ④			20	30		
			主な活動指標と達成率		[店]	100.0%	100.0%		
			量販店等でのフェア開催回数 目標値 20 実績値 20 [回] 達成率 100.0%	魚食普及活動回数 目標値 19 実績値 20 [回] 達成率 105.3%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大消費地の量販店等で「かぼす養殖魚を核としたフェア」を開催したことが評価され、通年で販売が見込める量販店とパートナーシップを結ぶことができた。県内では、県漁協等の各種団体が魚食普及活動を行い、県産魚のPRを行った。 今後は、外食需要の回復を見据え「おおいたの魚パートナーシップ飲食店」を新たに創設し、フェアやイベントを開催する。一方で、コロナ禍で増加傾向にある内食需要を取り込むために、対面販売による県産魚の情報発信を強化する。				
			予算額 (うち翌年度繰越額) 12,097 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 11,720 (2,954)						

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針	
9	<b>県産農水産物学校給食提供事業</b> ( R2 ~ R4 ) 農林水産企画課 外食需要が減少した県産農水産物の消費を回復させるため、希望する県内小中学校等の学校給食に県産農水産物を提供するとともに、食育を通じ児童・生徒の農林水産業への理解醸成に取り組む。	①県産農水産物提供経費への補助 新型コロナウイルス感染症の影響により外食需要が減少した県産農水産物（おおいた和牛、冠地どり等、養殖ヒラメ、養殖ブリ類、ハモ、関あじ、大葉、みつば）の消費を回復させるため、学校給食向けに食材を提供する際に必要となる経費に対し助成 【対象】 県内の公立小中学校及び特別支援学校等（387校） 【期間】 令和3年5月～12月 【提供量】 ・おおいた和牛 11.9t ・冠地どり等 22.7t ・養殖ブリ類 10.2t ・養殖ヒラメ 2.6t ・ハモ 4.6t ・関あじ 0.4t ・大葉 13.5kg ・みつば 0.3t	令和3年5月から12月の間に、おおいた和牛で11.9t、養殖ブリ類で10.2tを学校給食に提供するなど、県産農水産物の消費拡大を図ることができた。 県産農水産物の消費を回復し、生産意欲の維持・向上を図るため、令和4年度に予算を繰り越して食材提供経費の支援を継続する。	
			予算額 (うち翌年度繰越額) 400,000 (100,000) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 278,625 (88,276) (182,302)	

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
10	<b>6次産業化サポート体制整備事業</b> (H29～) おおいたブランド推進課	① 6次産業化サポートセンター等の運営 ・6次産業化の総合相談窓口を設置し、6次化に取り組む農林漁業者の経営改善を支援 ・農林漁業者を対象とした研修会を開催し、6次化に取り組む人材を育成	① 14,059 ③	<b>6次産業化に係る総合化事業計画の認定件数</b>	目標値	2	2	2	A
			② 2,496 ④		実績値	2	2	—	
	6次産業化の推進を図るため、成功事例となる事業者の育成を通じて、県産農林水産物の付加価値向上、雇用の創出、地域の活性化に向けた取組を実施する。	② スタートアップ支援、出口支援 ・取組の初期段階で生じる個別課題に対して、専門家の派遣や事例集の作成による普及啓発を行い、新たな取組の後押しを推進 ・事業者の商談スキルの向上や販路拡大、商品改良を図るため、オンライン商談会等を実施	主な活動指標と達成率		[件]	達成率	100.0%	100.0%	—
			6次産業化チャレンジスクール受講者数	目標値		20	実績値	23	達成率
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 6次産業化サポートセンターや九州農政局等の関係機関と連携し、農林漁業者等の6次産業化の取組に対する国の総合化事業計画の認定件数は目標を達成した。また、コロナ禍で困難となった訪問商談に代わる商談機会創出のため、オンライン商談会を開催して事業者の販路開拓を後押しした。 今後は、農林漁業者等と異業種との連携を促進するため、交流会を開催するなど、地域資源を活用した新たな付加価値向上の取組の創出も図っていく。						
16,557 (0)	16,555 (14,059)	[人]		目標値		実績値		達成率	

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
11	<b>県産花き消費拡大緊急対策事業</b> (R2～R3) 園芸振興課	① 入学式での花飾りの展示 入学式での県産花きを使用した花飾りの設置や、県産花き紹介パネルの設置によるPR ・花飾り設置校数：404校 ・設置市町村数：18市町村（県内全市町村）	① 13,332 ③	<b>花飾り設置台数</b>	目標値	411	411		B
			②		④	実績値	418	404	
	県産花きの消費を拡大するため、県産花きを使用した花飾りを小・中・高等学校、特別支援学校の入学式の会場に展示し、来場者への県産花き消費拡大の意識の醸成に取り組む。	② 入学式での花飾りの展示 入学式での県産花きを使用した花飾りの設置や、県産花き紹介パネルの設置によるPR ・花飾り設置校数：404校 ・設置市町村数：18市町村（県内全市町村）	主な活動指標と達成率		[台]	達成率	101.7%	98.3%	
			事業実施市町村数	目標値		18	実績値	18	達成率
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 学校行事の中止・自粛が続く中、保護者・生徒・教員からの評価が高く、県産花きに関心を持つ方が多かったことから、県産花き消費拡大の意識醸成と生産者への支援につながった。 令和4年度からは、「花き経営安定化対策事業」として、ポストコロナに対応した非接触販売体制（配送）の確立、家庭需要喚起のための花レシビ動画によるPRなど、県産花きの消費拡大に向けた取組を行う。						
13,332 (0)	13,332 (13,332)	[市町村]		目標値		実績値		達成率	

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
12	<b>木造建築物等建設促進総合対策事業</b> (H23～R6) 林産振興室	① 木構造設計講習会（木造マイスターの養成） 中大規模木造建築物の設計に係る講習会を実施 ・木造建築の現況と非住宅木造建築への導入 ・中大規模木造のデザイン ・最先端木構造について ・木造建築の防火について ・木材・木質材料の種類と使い方	① 2,991 ③	<b>木造マイスター修了者数</b>	目標値	15	15		D
			② 1,308 ④		実績値	8	11		
	県産材の需要拡大を図るため、中大規模木造建築に取り組もうとする建築士の養成を図る研修等を実施し、木造化を検討する建築士等に対する相談窓口の設置を行う。	② 木材利用アドバイザーの設置 建築士等が木造化に取り組む際の木造の構造設計や、木材調達等についての相談窓口を設置	主な活動指標と達成率		[人]	達成率	53.3%	73.3%	
			研修会開催回数	目標値		7	実績値	8	達成率
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍で研修生の確保が困難となり、成果指標は未達となったものの、研修のリモート開催など感染症対策に努めたことにより、木造マイスターの修了者は前年より3名増加し、11名となった。 令和4年度からは、これまでの木造マイスター研修終了者を対象に防火技術をはじめとした最先端の木造技術講習の実施等により、中大規模建築物に取り組む建築士を養成し、県産材利用を促進する。						
5,402 (0)	4,506 (0)	[回]		目標値		実績値		達成率	

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
13	<b>「おおいたの有機」産地づくり加速化事業</b> ( R1 ~ R3 ) 地域農業振興課 有機農業の産地拡大と生産者の経営力強化を図るため、有機農業の産地を牽引するトップランナーの生産力向上などを支援するとともに、県産有機農産物の認知度向上に取り組む。	①SNS等を活用した消費者への県産有機農産物の情報発信 ・オーガニックサポーターによる情報発信 ・広報誌の掲載 ②東京都内における県産有機農産物商談会の開催 ・県内有機生産者と都内飲食事業者間で商談を実施 ・商談内容をSNSや雑誌等で一般家庭等にもPRを行い、県産有機農産物の家庭消費を促進 ③県域有機野菜生産出荷体制及び省力化機械整備支援 ・県内有機農業のトップランナーを核とした広域出荷体制の構築と試験販売 ・有機野菜等の生産性向上や省力化に向けた機械及び施設整備等の支援	① 5,104 ③ 3,011	<b>主要経営体の販売額</b> [百万円]	目標値	262	277		A
			② 4,455 ④		実績値	265	277		
	予算額 (うち翌年度繰越額) 21,075 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 13,823 (6,828)	主な活動指標と達成率 産地化に取り組む経営体数 [経営体]	目標値 14 実績値 15 達成率 107.1%	達成率 101.1% 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルスの影響で、外食向け等では苦戦したが、県内大手量販店への試験販売開始 (R4.1~) や東京での商談会等の支援を行い、販売額は前年度を上回った。現在は、商談会を切り口として関東圏向けに販売協議を行っている。 令和4年度からは、「持続可能な豊かな有機産地等活性化事業」に組み替え、市町村による有機農業の取組支援や、県域出荷組織の体制を整備し、有機野菜等の生産・販売に取り組む産地等を育成する。				
	サポーターによる情報発信回数 [回]	目標値 120 実績値 734 達成率 611.7%							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
14	<b>もうかる水田作物産地力強化対策事業</b> ( R2 ~ R3 ) 水田畑地化・集落営農課 消費者や実需者ニーズに応じた水田作物の生産・供給のため、良食味米及び麦・大豆の生産対策により収量・品質の高位平準化を図る。	①地力改善技術普及対策 ・土づくりコンソーシアムの育成：2モデル (大分市、日出町) ②生産者と協同した産地のパワーアップ対策 ・つや姫拡大のための産地育成対策：2件 (つや姫コンテスト開催、つや姫販売促進キャンペーン資材作成等) ・特A獲得対策：4件 (特A米栽培に向けた実証圃の設置と管理指導、栽培資料の見直し、病害虫の適期防除指導、特A米販売促進キャンペーン資材作成等) ・なつほのか実証圃の設置：14箇所 (現地適応性試験 (栽植密度、施肥体系の検討) 現地栽培講習会・試食会の開催によるPR等)	① 2,885 ③	<b>米の食味ランキング特A獲得地区数</b> [地区]	目標値	1	1		A
			② 2,730 ④		実績値	0	2		
	予算額 (うち翌年度繰越額) 7,366 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 6,906 (218)	主な活動指標と達成率 生産者組織の育成数 [組織]	目標値 6 実績値 6 達成率 100.0%	達成率 0.0% 200.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 米の栽培指導において、栽培資料の見直しにより病害虫防除等を徹底した結果、米の食味ランキングにおいて、2地区で「特A」を獲得することができた。 令和4年度からは、「水田農業産地力強化対策事業」として、消費者ニーズに応じた水田作物の生産・供給体制を強化するため、高温に強い水稲品種「なつほのか」の産地拡大支援等を行う。				
	土づくりコンソーシアムの育成数 [累計：モデル]	目標値 4 実績値 5 達成率 125.0%							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
15	<b>食品企業連携産地拡大推進事業</b> ( H28 ~ ) おおいたブランド推進課 農工商連携による農林水産物の付加価値向上を図るため、産地と県内外の食品企業が連携した取組を支援する。	①産地育成対策 ・加工業務用農産物の栽培に必要な土壌分析、生産費及び機械化体系の確立に向けた機械のレンタルや運搬費用等に対する支援 ・加工業務用原料の供給拡大に必要な農業用機械、搬出用機械等の導入に対する支援 ・加工業務用原料の品質・量の確保に向けた品種試験や排水対策実証等を支援 ②ビジネスマッチング対策 フードメーカーによる食品企業と産地のマッチングの推進 ③加工業務需要拡大対策 産地と食品企業等が連携して取り組む新商品開発や製造拡大に必要な加工機械等の整備への支援	① 6,795 ③ 1,192	<b>食品企業ニーズに対応した生産・出荷体制の構築</b> [マッチング数・産地拡大数]	目標値	24	24	24	A
			② 2,155 ④		実績値	32	34	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 18,091 (3,333) 決算額 (うち国庫支出金) 10,457 (5,661)	主な活動指標と達成率 加工業務用農産物の栽培拡大面積 [ha]	目標値 24.0 実績値 40.6 達成率 169.2%	達成率 133.3% 141.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 フードメーカーや各振興局の農工商連携担当者による食品企業ニーズの把握により、食品企業と産地のマッチングが進み、かぼちゃ、さといも、えだまめなどの加工業務用野菜の産地が拡大した。 引き続き、拡大意欲のある食品企業のニーズに対応した機械化や出荷体制の構築により、加工業務用農産物の生産者が安定した経営を行えるよう支援していく。				
	商品化支援件数 [件]	目標値 2 実績値 3 達成率 150.0%							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
16	<b>ねぎ産出額100億円プロジェクト推進事業</b> ( R3 ~ R4 ) 園芸振興課 令和5年までに白ねぎ、こねぎを合わせた産出額100億円を実現するため、白ねぎの新規栽培者等の機械導入を支援するとともに、大規模経営体による技術指導を実施する。	①白ねぎ新規栽培者確保に向けた種苗・肥料代等の支援・生産経費・土壌改良費支援：55戸 ②白ねぎ苗の安定供給体制構築を目的とした広域育苗施設整備への支援（大野、白杵、玖珠） ・育苗施設整備支援：3箇所 ③白ねぎの新規栽培や生産拡大に必要となる一連の機械導入を支援 ・育苗ハウス、機械整備支援等：31戸 ④白ねぎの周年安定生産を目的とした高原出作者への水源確保や鳥獣害防護柵の設置を支援 ・防護柵設置：5戸	① 19,995 ③ 11,185	<b>ねぎ産出額</b> 目標値 実績値 達成率	目標値		85	90	-	
			② 16,657 ④ 3,644		実績値		-	-		
	主な活動指標と達成率 白ねぎの生産面積			目標値 656	[億円] 達成率	達成率		-	-	-
	こねぎの生産面積			目標値 121		実績値		-	-	
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 苗の供給体制構築や新規栽培者のスタートアップ、機械整備などをパッケージで支援することで、急速な産地拡大が図られた。今後は、令和4年度に繰越した高原地域への水源設置支援や、後継事業として令和4年度から実施する「短期集中県域支援品目生産拡大推進事業」で引き続き経営体の規模拡大を支援し、また併せて調製作業の分業化体制構築など労力確保対策を行い、更なる産地拡大を進める。 ※令和3年のねぎ産出額は令和4年12月頃確定する見込み			実績値		-	-			
	予算額 (うち翌年度繰越額) 58,086 (5,794) 決算額 (うち国庫支出金) 51,853 (0)			達成率		-	-			

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
17	<b>次代へ繋ぐ園芸産地整備事業</b> ( R3 ~ R4 ) 園芸振興課 もうかる農業の実現に向けて高収益園芸品目の生産拡大を図るため、認定新規就農者、親元就農者等による栽培施設の整備や後継者不在施設を継承する際の改修等に要する経費に対し助成する。	①戦略品目振興対策 ・栽培施設整備（こねぎ、いちご、ピーマン等）26件 ・機械導入（白ねぎ、高糖度かんしょ等）20件 ・ベリーツ転換 7件 他 ②一般園芸品目振興対策 ・栽培施設整備（スナップエンドウ、キウイ）2件 ・機械導入（にんじん、レタス等）6件 他 ③戦略品目ネクスト振興対策 ・栽培施設整備（キウイ、おおば、ホオズキ）3件 ・機械導入（にんにく）1件 他	① 717,511 ③ 24,645	<b>園芸戦略品目の増加面積</b> 目標値 実績値 達成率	目標値		45.0	45.0	B	
			② 37,900 ④		実績値		41.8	-		
	主な活動指標と達成率			事業担当者会議の開催回数	目標値 4	[ha] 達成率	達成率	92.9%	-	-
	事業を活用した新規就農者数			目標値 20	実績値 30		達成率 150.0%			
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 国庫事業の不採択による大規模整備の未実施等により、目標達成には届かなかったものの、ピーマンや白ねぎ等の園芸戦略品目を中心とした栽培施設や生産基盤の整備により、認定農業者や企業参入等による規模拡大が図られ、戦略品目の生産拡大につながった。後継の「おおいた園芸産地づくり支援事業」で、白ねぎ等の短期集中県域支援品目を重点支援するとともに、市町の産地戦略に基づき認定する産地拡大推進品目等を支援し、引き続き園芸品目の生産面積拡大に取り組んでいく。			事業を活用した新規就農者数	目標値 20	実績値 30	達成率 150.0%			
	予算額 (うち翌年度繰越額) 1,813,578 (847,599) 決算額 (うち国庫支出金) 807,386 (541,309)			達成率		150.0%				

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
18	<b>花き経営安定化対策事業</b> ( R3 ~ R5 ) 園芸振興課 花きの流通販売体制を強化するため、コロナ禍における新たな販売形態への対応及びキク生産者の経営リスク分散に向けた新品種・新規品目の導入を支援する。	①新しい生活様式に対応した花きの消費拡大支援 ポストコロナ環境に対応した家庭消費拡大に向けた配送体制の構築及び県産花きのPR活動 ・配送箱選定等のための配送試験（2種120件） ・産地動画の制作（5点） ・花レシビ動画・カードの制作（25点） ・リーフレット、ポップ等販促物の制作 ・生産者と花屋合同研修会の開催（1回） ②キクの新品種導入、新規品目導入への支援 白輪菊からの色菊、スプレー菊等への品種転換及び需要の高い品目の新規導入支援 ・新品種導入戸数：11戸、56品種 ・新規品目導入戸数：8戸、4品目	① 9,666 ③	<b>キク産出額対前年度増加額</b> 目標値 実績値 達成率	目標値		1	1	D	
			② 1,600 ④		実績値		0	-		
	主な活動指標と達成率			事業担当者会議の開催回数	目標値 2	[億円] 達成率	達成率	0.0%	-	-
	新品種等導入にかかわる研修会開催回数			目標値 2	実績値 2		達成率 100.0%			
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 キクの新品種の導入が進んだが、需要期外に低単価で推移したことによりキクの産出額は前年並みとなった。一方で、経営改善を目的とした他品目の導入が進んだことにより、キクの品目転換を行った農家所得は107%に増加した。今後は、非接触型販売形態の確立支援や花レシビ動画等によるPR活動により、県産花きの流通販売体制を強化するとともに、複合経営モデルによるキクの推進を行う。			事業を活用した新規就農者数	目標値 2	実績値 2	達成率 100.0%			
	予算額 (うち翌年度繰越額) 11,506 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 11,266 (11,266)			達成率		100.0%				



主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
19	<b>牛乳消費拡大推進事業</b> (H28～) 畜産振興課 酪農等に対する消費者の理解醸成と県産牛乳の消費拡大を図るため、生産者と乳業メーカー等が連携して実施する酪農体験イベントなどを支援する。	①小学生を対象とした施設見学等県産牛乳理解啓発活動の経費支援 ・ラッピングバスによる啓発(10台) ・大分駅ストリートビジョン(4ヶ所) ・ラジオ放送(140本)	① 679 ③	<b>啓発活動参加人数</b> 目標値 6,000 実績値 3,759 達成率 62.7%	6,000	7,000	7,000	D	
			② 313 ④		実績値 3,759	3,824	—		
	②酪農体験イベントや出張講座等の実施を支援(26施設) ・牛乳の無償配布 計117ケース(561.1L) ・普及啓発グッズ配布(クリアファイル(2,000枚)、ミルクアート(1,000冊)、ハチ(200枚)、マスク(100枚)、手提(1,000個)、エコバック(200個))	①見学受入回数 目標値 40 実績値 0 達成率 0.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルスの影響により、工場見学及び酪農体験イベント等の実施が困難となり、当初の事業効果が得られず、目標値に達しなかった。こうした状況を受け、ラッピングバス・サイネージ等の広告媒体を通じた理解啓発の取組や普及促進グッズ等の配布による消費拡大の推進を行った。	40	0	—			
	②酪農体験イベント回数 目標値 18 実績値 2 達成率 11.1%	18		2	—				
予算額 (うち翌年度繰越額) 1,582 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 1,186 (0)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
20	<b>県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業</b> (H29～R4) 畜産振興課 県内養豚農家の所得向上を図るため、オレイン酸に着目した県統一ブランド「米の恵み」及びオレイン酸含有率の高い高価格帯の特別商品「米の恵みプレミアム」の販売促進等を支援する。	①「米の恵み」消費拡大のための販促資材の作成及び広告・宣伝活動に対する支援 ・販促資材の作成・配布 ・TVで米の恵み特集を放映 ・米の恵み豚食べ比べモニターキャンペーンの実施 ・雑誌で特集記事を掲載	① 2,300 ③	<b>米の恵みプレミアム出荷頭数</b> 目標値 20,000 実績値 30,238 達成率 151.2%	20,000	30,000	40,000	A	
			② 741 ④		実績値 30,238	51,188	—		
	②オレイン酸含有率測定体制の整備 ・オレイン酸測定機により米の恵みとして出荷する豚のオレイン酸含有率を測定 ・オレイン酸測定頭数 111,889頭 うちプレミアム出荷頭数 51,188頭	①イベント等開催回数 目標値 10 実績値 9 達成率 90.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルスの影響により、積極的な県内外での販促活動を目的としたフェアやイベントの開催ができなかったが、TV放映や雑誌等による米の恵みや米の恵みプレミアムの情報発信等認知度向上の取組により、米の恵みプレミアムの出荷頭数が増加した。	10	9	—			
	②オレイン酸測定回数 目標値 111,500 実績値 111,889 達成率 100.3%	111,500		111,889	—				
予算額 (うち翌年度繰越額) 4,038 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,041 (0)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
21	<b>おおい冠地どり流通拡大対策事業</b> (H29～) 畜産振興課 県産地鶏「おおい冠地どり」のさらなる生産拡大を図るため、専門店設置によるブランド力向上と需要拡大に取り組むとともに、供給力強化に必要な施設の整備改修を行う。	①県内外への販路拡大や商談展示会出展・フェアの開催等による知名度向上に要する経費の支援 ・サンプル提供(163業者・約260kg) ・大分空港や大分駅での看板設置 ・フェア・イベントへの参画 ・大分県農林水産祭、おおい冠地どり産肉応援キャンペーン、田北調理師専門学校「鳥づくり弁当」	① 1,050 ③	<b>出荷羽数</b> 目標値 150 実績値 111 達成率 74.0%	150	150	150	C	
			② 222 ④		実績値 111	123	—		
	②増羽のための施設整備や改修にかかる費用の助成 ・動力噴霧機一式 1件	①情報発信回数 目標値 3 実績値 8 達成率 266.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍における飲食店・宿泊施設への流通量の減少など、需要が減退した中での増羽への取組が困難であったため、出荷羽数は目標値を下回った。	3	8	—			
	②現地協議回数 目標値 3 実績値 5 達成率 166.7%	3		5	—				
予算額 (うち翌年度繰越額) 3,702 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 1,322 (0)									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
22	<b>酪農経営生産性向上対策事業</b> (H29～) 畜産技術室 国際化の進展に対応可能な生産性の高い酪農経営体制を構築するため、後継牛の能力向上や規模拡大の取組を支援する。	①乳用優良雌牛貸付事業 初妊牛の外部導入経費に対し貸付けを実施 5件 ②後継牛能力向上対策事業 優良な後継牛を確保するため、ゲノム検査や高能力種雄牛の性別別精液購入に要する経費に対し助成 ③酪農支援対策施設整備事業 酪農経営体の省力化・カウコンフォート・暑熱対策等の機器整備に要する経費に対し助成 ④後継牛緊急確保特別対策事業 酪農経営体が増頭する際の増頭分のかかり増し経費に対し助成	① 37,042 ③ 10,222 ② 13,382 ④ 7,832	<b>平均個体乳量9,000kg以上の農家戸数</b> [戸]	目標値	36	38	40	A
			実績値		40	38	—		
	事業推進会議の開催回数	目標値 10 実績値 16 [回] 達成率 160.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 乳用牛ゲノム検査や性別別精液の活用など高能力な後継牛の確保に向けた施策を展開したことで、生産性が高まり、結果として38戸が平均個体乳量9,000kg以上となり、目標を達成した。引き続き、もうかる酪農の実現に向け、既存の事業に加え、生乳分析機器の導入に対する補助を行うことにより、多くの農家の生産性を高め、経営基盤の強化を図る。	後継牛割合	目標値 38.0 実績値 35.9 [回] 達成率 94.4%				
	予算額 (うち翌年度繰越額) 87,770 (3,900) 決算額 (うち国庫支出金) 69,562 (0)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
23	<b>草地畜産基盤整備事業</b> (H29～R9) 畜産技術室 規模拡大等による担い手の経営安定や、安全・安心な自給飼料を通じた産地づくりのため、飼料生産基盤の整備や、自給飼料活用型の経営改善を支援する。	①草地造成や施設整備に対する助成 ・草地整備改良 2.7ha ・ホイールローダー等の機械整備 7台 ②バッテリーレスセンサー実証 大学、企業との共同研究により開発されたバッテリーレスセンサーについて、放牧管理における利用実証を実施	① 13,888 ③ ② 1,506 ④	<b>草地造成・整備面積</b> [累計：ha]	目標値	67.0	69.0	74.0	A
			実績値		70.5	73.2	—		
	事業推進会議の開催回数	目標値 12 実績値 12 [回] 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 由布玖珠地区について、5月に事業着手し、12月に草地整備2.7haが完了した。今後は、やまなみ地区にて新たに草地造成及び家畜保護施設整備を行うことに加え、スマート農業の普及を推進するため、実証試験を終えたバッテリーレスセンサー及び脱牧検知システムの市販化に向けた設計等を民間と連携して進める。	目標値 実績値 達成率					
	予算額 (うち翌年度繰越額) 15,907 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 15,394 (11,285)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
24	<b>肉用牛競争力強化対策事業</b> (H28～) 畜産技術室 肉用牛生産基盤を強化するため、経営体が行う規模拡大に向けた畜舎の整備や飼養環境改善のための設備整備に対し助成する。	①肉用牛競争力強化施設整備事業 畜産クラスター計画に基づく規模拡大に取り組む法人等の牛舎施設整備に対する助成 補助率1/2 計2件 ②肉用牛生産施設整備事業 規模拡大を目指す既存農家の施設・省力化機器整備に対する助成 補助率 1/2 (県1/3、市町1/6) ・牛舎、堆肥舎、分娩監視カメラ等の整備 計11件	① 93,120 ③ ② 17,464 ④	<b>本事業による増頭数(※)</b> [累計：頭]	目標値	1,876	1,852	—	B
			実績値		2,338	1,716	—		
	事業説明会の開催回数	目標値 12 実績値 10 [回] 達成率 83.3%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 高齢化による規模縮小、生産基盤のぜい弱化が進む中、クラスター計画にて実施した2件に加え、施設整備に取り組む11戸を支援したことで、畜産農家の規模拡大につながった。今後も、施設整備の支援を行うとともに、生産性向上等につながる繁殖ICT機器の補助に関して、肥育経営体だけでなく繁殖経営体も補助対象として見直すことで、持続可能な肉用牛生産基盤を確立する。 (※) 令和4年度の成果指標及び目標値 肥育牛の平均枝肉重量 514 (kg)	外部化作業検討会の開催回数	目標値 6 実績値 18 [回] 達成率 300.0%				
	予算額 (うち翌年度繰越額) 114,444 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 110,861 (93,120) (93,120)								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
25	<b>酪農基盤対策事業</b> ( R2 ~ R3 ) 畜産技術室	①牛舎等施設整備への補助 規模拡大に伴い施設整備（牛舎・堆肥舎・その他 附帯設備）を実施する経費の補助 補助率1/2 計2戸	① 92,015 ③	<b>新規取組農家における 経産牛増頭割合</b>	目標値		100.0		A	
			②		④	実績値		148.6		
	畜産経営体の地域内連携により収益力向上 を図るため、畜産クラスター計画に基づく牛 舎等の整備に対し助成する。		主な活動指標と達成率		[%]	達成率	148.6%			
	予算額 (うち翌年度繰越額) 106,578 (0)		決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) (23,041) (91,884)		取組農家への現地指 導回数	目標値 12 実績値 4 達成率 33.3%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 生乳生産量の増加を図るため、生産基盤となる経産牛の増頭 を目的に畜産クラスター事業を活用して酪農家の牛舎等施設整 備を支援した。 2戸の生産者が補助事業を活用し畜舎等を整備した結果、経 産牛の頭数が109頭から162頭となり、148%の増加率となるな ど、当初の事業目的を達成したことから当該事業を終了する。			
					県酪農協担当者との 協議回数	目標値 12 実績値 14 達成率 116.7%				

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
26	<b>大野川上流地区園芸産地強化対策事業</b> ( R2 ~ R5 ) 農村整備計画課	①給水栓の設置 給水栓新規設置への助成 109ha (349カ所) ②農地高度利用対策 ・営農意向アンケート調査（地権者866名） ・作付状況調査の実施 ・農地利用計画書の図化（2地区80ha）	① 6,980 ③	<b>給水栓の設置により 新たな水使用が可能 となる畑地</b>	目標値	107	107	107	A	
			② 3,495 ④		実績値	112	109	—		
	大野川上流地区において、大蘇ダムからの 畑地かんがい用水を活用した野菜等の生産拡 大及び農地の高度利用を図るため、給水栓の 設置等を支援する。		主な活動指標と達成率		[ha]	達成率	104.7%	101.9%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 11,046 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 10,520 (0)		竹田市西部地区営農 振興協議会開催回数	目標値 6 実績値 10 達成率 166.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和3年度は、営農振興協議会を10回開催し、事業の進捗管 理とともに、今後の給水栓設置及び農地高度利用の関係機関の 役割分担とスケジュールを明確化した。また、野菜の作付推進 に向けて、地元説明会や広報誌による畑地かんがい事業のPR 推進に取り組んだ結果、目標を上回る109haのほ場で新規給水栓 を設置することができた。 引き続き、営農振興協議会を中心に、給水栓設置を推進し、 大野川上流地区の野菜の作付拡大を図る。			
					[回]	目標値 実績値 達成率				

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
27	<b>林業再生県産材利用促進事業</b> ( H21 ~ R6 ) 林産振興室	①木材加工流通施設整備事業 製材工場や原木市場の施設の整備に要する経費の 一部を助成（6件） ②大径材利用ビジネスモデル構築事業 ③製材業等労働環境改善対策事業 製材所等が行う暑さ対策に要する経費の一部を助 成（9件） ④大径材製品海外販路開拓事業 大径材製品の販路開拓に係る海外販売拠点の設置 等に要する経費の一部を助成（1件）	① 265,680 ③ 738	<b>乾燥材生産量</b>	目標値	6	8	10	A	
			② 6,190 ④ 630		実績値	6	11	—		
	県産材の需要拡大と製品加工等の低コスト 化等を図るため、木材の加工流通施設や木質 バイオマス施設の整備、労働環境改善への取 組等を支援するとともに、大径材の利用促進 に向け、ビジネスモデルの構築、海外販売拠 点の設置支援等を行う。		主な活動指標と達成率		[千㎡/年]	達成率	100.0%	137.5%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 747,026 (443,480)		決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) (256,470) (295,680)		乾燥機導入数	目標値 2 実績値 5 達成率 250.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 製材品の付加価値向上に向け、乾燥機の導入支援を行った結 果、目標とする乾燥材の生産量を達成することができた。 また、令和3年度は大径材の利用促進を図るため、大径材を 効率的に製材加工するビジネスモデルを構築した。 令和4年度からは、高品質な製材品の生産を支援するととも に、大径材利用促進の取組として、大径材から生産した木材製 品を県外プレカット工場等へ提供し、製品評価を実施する。			
					[基]	目標値 実績値 達成率				

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
28	<b>しいたけ増産体制整備総合対策事業</b> (H14～) 林産振興室 大分県産しいたけのさらなる品質向上と生産量の増大を図るため、生産基盤の整備や原木供給作業等の協業化の取組を支援する。	①林内作業路の整備に対する補助 しいたけ原木の搬出を目的とした幅員2m以上の林内作業路開設に対し助成 ・低コスト簡易作業路整備 7,909m ・補助率(定額) 県400円/m、市100円/m ②生産施設、機械等の導入に対する補助 しいたけ生産の省力化・低コスト化を図るための生産施設整備及び機械導入に対し助成 ・効率化促進対策(バックホウ等整備) 8件 ・生産施設高度化対策(散水施設等整備) 26件 ・生しいたけ生産施設(保冷库整備) 1件	① 42,326 ③	<b>中核的生産者数</b> 目標値 219 実績値 219 達成率 100.0%	219	219	219	A			
			② 6,436 ④		達成率	100.0%	100.9%		—		
			主な活動指標と達成率 低コスト簡易作業路の開設			目標値 24,000 実績値 16,091 達成率 67.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 低コスト簡易作業路の開設やユニック車・バックホウ等の導入、散水施設や林内作業車の導入を支援した結果、原木伏せ込み量の目標を達成するとともに、中核的生産者数も目標数を確保することができた。				
			生産施設等整備事業 実施分原木伏込量			目標値 3,854 実績値 3,992 達成率 103.6%	引き続き、生産規模拡大に向けた生産施設・機械等の導入を支援するとともに、原木供給体制を構築することで、中核的生産者を確保し、品質向上と生産量の増大を図る。				
			予算額 (うち翌年度繰越額) 49,372 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 49,108 (17,661)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
29	<b>農林水産物輸出需要開拓事業</b> (H28～) おおいたブランド推進課 成長する海外市場を取り込み、農林水産業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会等が行う輸出拡大の取組を支援する。	①マーケットインの産地づくり ・輸出産地形成に向けた海外市場ニーズ調査や生産・加工体制の構築(シャインマスカット、養殖ブリ、製材品) ・動物福祉に配慮した頭絡による家畜の取扱い及び食肉処理施設(牛係留所)の暑熱対策など血斑発生低減のための試験的取組 ②新たな販路の開拓、取引量の拡大 ・オンライン商談会や現地商社・海外人脈を活用したフェア等の実施	① 27,897 ③	<b>農林水産物の輸出額</b> 目標値 37.6 実績値 28.9 達成率 76.9%	37.6	42.4	42.4	C			
			② 14,862 ④		達成率	76.9%	84.7%		—		
			主な活動指標と達成率 輸出延べ品目数			目標値 54 実績値 54 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍による防疫上の規制強化により、中国向けの養殖クロマグロ等で輸出が減少したため、目標は達成できなかったものの、現地法人等と連携した販促活動やオンライン商談等に取り組んだ結果、米国向け牛肉や韓国向け養殖ブリの輸出が拡大し、輸出額は過去最高の35.9億円となった。				
			海外での商談会やフェアへの出展回数			目標値 3 実績値 3 達成率 100.0%	今後も、コロナ収束後の攻勢に向けて、マーケットインの産地づくりや新たな販路の開拓など輸出拡大の取組を進める。				
			予算額 (うち翌年度繰越額) 100,900 (35,000) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 42,759 (27,897)								